



第217回 洗い張り＆仕立て直し

的に丸洗いをせずに、必ず洗い張りを仕立て直しをされること事であった。

「丸洗いは着物を劣化させ、仕立てを少し狂わせます」と言われまして、一方で、洗い張りは着物を蘇らせ、仕立てをリセットさせる。「あー！ここにこそ着物文化の本質がある」と直感した。

20年の間に何回か洗い張りをし、仕立て直しをした着物は、まるでこの間眺めた新品と見紛うばかりのクオリティであった。

洗い張りは着物を一度反物に戻す

たんす屋では、丸洗いを通常価格3800円、着物クリーニングでは2800円、本部催事では、3点に限り1800円でお受けしている。世間相場から相当割安であるから、年間約5万点の丸洗いを承っている。一方で洗い張りは年間で500点にも届かない。

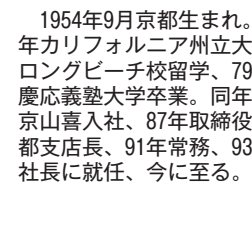
丸洗いは、早くて安くして便利、まさに文明の利器である。具体的には、着物をそのまま

着物文化の本質に気付いてほしい！ 1万円の洗い張りを1000円で企画

ネットに入れて、揮発性の溶剤で洗濯機で洗う。しかし、昔は丸洗いはなかった。着物のお手入れと言え、必ず洗い張りであった。洗い張りは、先ず着物を解く。「解き」とは、着物の仕立て糸を切って引き抜く。着物を「解き」すると、8枚の布になる。これを、「は縫い」と言っ

て縫い合わせ、元の一反の反物に戻す。着物は、一反の反物から仕立てる時に直線に裁って、8枚の布にしてそれを手縫いで仕立てあげるので、この様に「解き」をして「は縫い」をして元の一反の反物に戻すことができるのである。これこそ、物をどこまで大切にしている日本人の価値観が生んだ叡智の賜物である。

その後、元に戻した状態の反物を水でしっかりと洗う。本来、着物は必ず水につけて仕上げる。であるから、着物は水につけて蘇る様になっている。この着物文化の本質に気づかされた私は早速、洗い張りのキャンペーンを実施することを決めた。通常一万円する洗い張りの加工費を8000円にして、全店でプロモーションを展開する。



東京山喜 (店名・たんす屋) 中村 健一 社長

1954年9月京都生まれ。77年カリフォルニア州立大学ロングビーチ校留学、79年慶応義塾大学卒業。同年東京山喜入社、87年取締役京都支店長、91年常務、93年社長に就任、今に至る。

昨年6月からスタートしたが、年間キャンペーンを実施して洗い張りの件数は前年比わずか130%程度しか伸びなかった。更に、二年目に入ってから、なんと前年を下回る様になってきた。これでは、全く私の思いがお客様に伝わっていない。もっと言えば、たんす屋の店長、店舗のキャスト、更に本部スタッフにも社長の気づきを伝えられないと痛感した。

洗い張り加工 総額をお得に

そこで8月23日から、大胆な挑戦に打って出た。その企画は、「洗い張り1000円企画」である。通常一万円の洗い張りを1000円にして、洗い張り、仕立て直しという着物文化の本質に気づいてもらおうという考えである。当然ながら、洗い張りを1000円に承ることは大きな赤字だ。

私は、洗い張りキャンペーンが進捗しなかった原因は、結果的にお客様の琴線に触れなかったからだと思いついた。通常の洗い張り一万円を8000円にしても、それ以外に裏地を交換すると胴裏7000円、八掛一万円、

00円以上のリユース着物をお買い上げの場合は、上記の仕立て直しが1万3000円、合計1万6000円、2万円以上のリユース着物をお買い上げの場合は、上記の仕立て直しが1万6000円、合計1万9000円に設定した。ご自分の着物を持ち込まれた場合は、洗い張り1000円、胴裏4800円、八掛一万円、仕立て直しが2万3000円で合計3万8800円で承ることにした。

リユース事業マーケティング 必携の最新版 中古市場データブック2018. 4月27日新発売. Includes a list of 230 companies in the reuse market and a table of contents.

中古市場データブック2018 申込書. Form with fields for company name, address, phone number, and fax number. Includes a stamp area for registration.

発行元 リサイクル通信 株式会社リフォーム産業新聞社 東京都中央区銀座8-11-1 TEL:03-6252-3451 FAX:03-6252-3461